



平成29年2月16日

## 薬学分野で新たにミャンマーからの留学生を受け入れ ミャンマーへの継続的な医療支援の中で薬学系も交流本格化

岡山大学は平成29年4月から、新たにミャンマーからの留学生2人を大学院医歯薬学総合研究科（薬）博士後期課程に受け入れることになりました。

これは昨年5月、薬学分野でミャンマーの保健省食品薬品行政局（MFDA）との間で締結した、「若手 MFDA 職員の博士学位の取得に向けた研究指導を行う協定」に基づくものです。2人の留学生は MFDA 職員で、留学期間中は日本製薬工業協会から奨学金支給を受けることになっています。

MFDA 職員が本学で最先端の薬学研究手法を学んで博士学位を取得し、帰国後のミャンマーにおける医薬品管理行政を指導することで、同国での新規医薬品開発や医薬品許認可の科学的な実施だけでなく、医薬品の品質管理に係る教育システムの構築に向けての改善が期待されます。

### <背景>

本学は20年以上にわたりミャンマーとの医療交流実績があり、日本におけるミャンマー医療人材育成の拠点校となっています。医療系大学院、大学病院では、多くの長期（博士課程）、短期（3か月から1年）の研修生を受け入れてきています。現在、医歯学系及び保健学系の大学院博士課程には、文科省、JICAの支援によりミャンマーの医科大学、看護大学、歯科大学からの9人が在籍しています。

本学薬学系とミャンマーとの交流としては、すでに昨年4月から若手の MFDA 職員1人が医歯薬学総合研究科（薬）博士後期課程に国費留学生として留学中。同研究科天然医薬品開発学分野の波多野力教授の研究指導の下、ミャンマー産植物からの新規薬効成分の発見に向けた研究に着手しています。

### <概要>

本学は、ミャンマーでの医薬品管理行政の質向上のため、MFDA 職員の博士学位の取得に向けた研究指導を行う目的で昨年5月、新たに薬学分野で MFDA と協定を締結しました。

本協定の下で、平成29年4月から留学生の受け入れを開始。MFDA 職員2人が博士後期課程入学を目指し、大学院研究生として勉学に励むことになりました。本制度の2人の留学生には、日本製薬工業協会から、留学期間中の滞在費や教材費などに充当できる奨学金が支給されることになっています。

本学大学院医歯薬学総合研究科で、2人はそれぞれ医薬資源開拓を志向した生物活性天然物の化学合成<sup>補足1</sup>や病原微生物が形成するバイオフィルム中の多糖体の解析<sup>補足2</sup>に関する研究を行い、最先端の科学技術を学びながら博士（薬科学）学位の取得を目指します。



## PRESS RELEASE

MFDA 職員が、本学で最先端の研究手法を学び博士学位を取得し、帰国後のミャンマーにおける医薬品行政を指導することで、同国での新規医薬品開発や医薬品許認可の質の一層の向上や医薬品、食品、化粧品などの品質分析ができる人材の育成に向けた取り組みが期待されます。

### <補 足>

1. 医薬資源開拓を志向した生物活性天然物の化学合成  
好光健彦教授（創薬有機化学分野）による研究指導（予定）
2. 病原微生物が形成するバイオフィルム中の多糖体の解析  
三好伸一教授（衛生微生物化学分野）による研究指導（予定）

### <参 考>

※以下は、岡田茂「日本・ミャンマー医療人育成支援協会」理事長からの情報

1. ミャンマーFDA（Food and Drug Administration、保健省食品薬品行政局）
  - ・ 1995 年に創設された保健省の Department of Health 内の部局。2013 年から保健省の Department に昇格。
  - ・ ヤンゴン、マンダレー、ネピドーに試験所があり、医薬品化学、美容医療機器、食品化学・食品微生物学検査部門に分かれる。
  - ・ 職員 600 人（博士学位取得者なし）。薬学部卒 40 人（修士学位取得者 8 人）。
  - ・ 医薬品製造企業から、概要、製造プロセス、成分構成、商品の説明書、ラベル、パンフレット、販売者についての情報などを提出させ、研究室で試験を行い審査する。
  - ・ インターネットで諸外国の規制や審査の情報を得ている状況。
  - ・ アメリカから薬局方の提供はあるが、日本の医薬品の情報はない。
  - ・ 医薬品の 80%はインド製で偽薬も多く、規模、試験機器、手法、薬局方など、すべてにおいて国際水準を満たしていない状況。日本の薬は安全で性能が良いが、高価で輸入できない。
  - ・ JPMA（日本製薬工業協会）が薬品検査で協力しているが、日本での専門家育成プログラム等はない。
2. ミャンマーの薬学教育状況
  - ・ University of Pharmacy, Yangon（1992 年創立）
  - ・ University of Pharmacy, Mandalay（2000 年創立）
  - ・ Defense Services Institute of Nursing and Paramedical Science (Yangon)（2000 年創立、薬学部あり）
3. ミャンマーの薬剤師数と専門家数
  - ・ 薬剤師数 約 3,000 人（6 人/人口 10 万人、日本の 1/20）（400 人が政府関係の施設）。



## PRESS RELEASE

- ・修士課程修了者は約 100 人。
- ・博士学位取得者はほとんどいない（博士課程は 2014 年、University of Pharmacy, Yangon に開設された）。
- ・国際水準での医薬品、食品、化粧品などの品質分析ができる人材は育成されていない。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（薬）

教授 黒崎 勇二

（兼 先端薬学教育開発センター長）

（電話番号）086-251-7978

（FAX番号）086-251-7926（薬学部）